

新潟地震の時は…

- ・引き潮を経験した
- ・水はあまり来なかった

地域の社会特性

- ・浸食溶岩の岩盤の層をした基盤に土砂が堆積した地域
- ・海岸部から川沿いに居住地が広がり、背後は山に囲まれている
- ・山や川に行く道幅が狭い
- ・高齢者が多い

地域の被害特性

- ・津波と土砂災害の両方の危険性がある
- ・土砂災害警戒区域の指定箇所がある
- ・道幅が狭く、家屋倒壊による道路閉塞の危険性がある
- ・普段から高潮時には流木が流されてくる
- ・地中に空洞があり危険

各ブロックごとの具体的な避難方法

ブロック	特徴	期待される避難行動	避難目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・坂本川を挟んで居住地、盆地が広がる ・坂本川右岸の山は、石の切り出し穴があり危険 ・土砂災害より陥没(崩落)が心配 ・高齢者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・川から離れ、より高い所へ避難する ・高齢者が多く、車での避難も必要 	第1目標：広場(本間宅脇)
B1	<ul style="list-style-type: none"> ・山に向かって標高が段々と高くなっている ・出口のないトンネルがある ・石の切り出し穴があり危険 	<ul style="list-style-type: none"> ・海沿いの地域は高い道路へ早く避難する ・川から離れ、より高い所へ避難する 	第1目標：旧間瀬保育園
B2	<ul style="list-style-type: none"> ・川に挟まれた地域（加茂川と白勢川） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高台へ避難する 	第1目標：標高の高い道路(標高 17.0m)
B3	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路は崖と隣接している 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に注意して高台へ避難する 	第1目標：広場(本間宅脇：Aブロック)
C	<ul style="list-style-type: none"> ・高台があり、比較的に安全である ・土砂災害（崩落）警戒区域である 	<ul style="list-style-type: none"> ・川から離れ、より高い所へ避難する 	第1目標：旧間瀬小学校 第2目標：団地広場(旧間瀬中学校)
D	<ul style="list-style-type: none"> ・高台があり、比較的に安全である ・階段脇の道が急である ・土砂災害（崩落）警戒区域である 	<ul style="list-style-type: none"> ・高台へ避難する ・高齢者には坂道・階段の避難が難しいので支援が必要 	第1目標：高屋ふれあいセンター